

第13回 能美市タウンミーティング

平成29年9月25日（月）19:30～21:30

大長野公民館

【司会】

ただいまから長野校下のタウンミーティングを始めさせていただきます。

まず初めに、ご参加の皆様を代表しまして、牛島町町会長にご挨拶をいただきたいと思っています。

【牛島町町会長】

皆さん、こんばんは。きょうは、井出市長の肝入りの能美市タウンミーティングです。10年後の未来ということで、21項目提示されています。長野校下として、各町会から3つ、合計10項目が出ています。それぞれの町会におきましていろいろと問題点があるだろうと思っていますし、10年後、この長野校下がどうなっていくかというのが非常に大事だと思っています。今から、それぞれの町会から出ている項目について発表していただき、市長さんの考え方、そしてまた能美市としての考え方について、いろいろと意見を出し合い、盛大に終わることをお誓いしまして、挨拶にかえさせてもらいます。よろしくお願いいたします。

【司会】

次に、井出市長がご挨拶を申し上げます。

【井出市長】

タウンミーティングも今回が13回目となります。

冒頭、私のほうから、皆さんとお話を進めていくのに際して、少しだけお話をさせてもらえればと思います。

まず、このタウンミーティングの位置づけからお話をさせていただきます。

私の政治信条である現地現場主義、市民ファースト、これを進めていくに当たってこのタウンミーティングを開催しています。皆さんと直接意見交換させてもらい、それを能美市の政治に反映をさせていきたいという思いです。

能美市の最大の課題は何かと言いますと、人口減少問題です。現在、5万75人なのですが、ある統計では、2040年には4万7,300人になるそうです。それを何とか4万8,800人に抑えられないかというのが一つの目標です。5万人と言っているのに、そんな4万8,800人

なんて言わないでというご意見があるのかもしれませんが、少子高齢化でして、なかなかお子さんがふえていかないと、どうしても人口が減っていきます。人口が減って行くだけではなくて高齢化も進むということですので、現在65歳以上の方が約25%なのですが、2040年には32%になってしまうことも課題です。

そこで、10年後に向けて、能美市の魅力を発信、発掘させていくということをやっていきます。

まず1つは、移住定住を促進します。先ほど申し上げたとおり、人口が減っていきます。それを何とか抑えていきたい。そのために、まずは移住を促進させます。能美市外の人にとんどん能美市に移り住んでもらいます。それから、定住を促進します。現在住んでいる長野地区の方にはずっとここに住んでもらえるようなことをしていきたいです。

それから、2つ目は、住みよいというだけではなかなか移住定住は促進されません。企業誘致、地場産業振興、いわゆる雇用の場を確保していくということです。加えて、企業誘致、地場産業を振興することで能美市政の財源を確保することももう一つの目的です。

それから、ふるさと愛を醸成させていくということです。これはどういうことかと言うと、例えば、寺井小学校、寺井中学校を出て首都圏の大学に行きます。そのまま首都圏の企業に就職したいと思っている子に、「そんなこと言わんと、もう一回この長野に戻ってきまっし」ということを伝えます。ただ、それを言うだけでは戻ってきませんから、幼いうちからこの長野地区というところは住みよいところだよ、それから働く場もちゃんとあるのだよということをしっかり伝えていきます。そういう意味で、この能美市の魅力を発掘、発信をさせていきたいと思います。

この間、能美市のポスターをつくって、いろんなところに張りました。これはどういうことかと言いますと、能美市の住みやすさランキングは4年連続ベストテン入りなのですが、魅力度とか認知度、これは全国で400番台だったり600番台だったりします。能美市（のみし）と我々は平気で読めますが、首都圏に行くと「のうみし」と読まれてしまいます。この間も、とある県外の方が能美市役所にお越しになられましたが、「能美（のうみ）市長さん、能美（のうみ）市長さん」とやっぱり言われてしまいました。それを何とかしたいということで、こういうポスターをつくりました。

このポスター、QRコードが張ってあります。携帯電話でこれをかざすと自動的に能美市のホームページにリンクするようになっています。このポスターを東京駅や大阪駅や京都駅、それから、高速道路のサービスエリア、もちろん金沢駅等に張りまして、能美市の

ホームページへのアクセスがぐんと伸びています。

それから、ビデオもつくりました。これはn o m iチャンネルで流れています。能美市の魅力を発信していこうといったときに、藤田誠さんという方がいまして、この方は能美市大成町の出身で、CMディレクターと言いまして、アサヒビールのコマーシャルをつくっている大変有名な方です。それから、梅佳代さんと言いまして、能登町出身の写真家の方なのですが、このお二人に能美市のポスターをつくってほしいとお願いしたら、能美市の子育て環境がすばらしいことを象徴するのは子供たちの笑顔だということで、こういったポスターやビデオをつくって、いろんなところで発信して能美市の魅力をPRしています。

能美市の魅力と言いますと、皆さん、いろんな魅力をお感じになっていると思います。

例えば、子育て環境が大変すばらしいです。ご当地の保育園、児童館は新しくなりました。それから、福祉医療の制度が充実しているということです。それから、自然景観がすばらしいです。こちらからも白山が大変きれいに見えますし、田園風景が広がっています。それから、自然災害が少ないです。先日、台風が接近しましたが、まず、大きな台風で被害があることはありません。いつのまにか白山が守ってくれています。それから、震度4以上の地震というのは10年前の能登沖地震以来、この地で観測されたことはありません。それだけ自然災害が少ないということです。それから、町会、町内会組織がしっかりしています。能美市は84平方キロメートルとコンパクトで、74の町会、町内会があります。能美市というのは町会長さんに大変お世話になっていまして、町会長さんがいるからこそ能美市のいろんな行政がうまくいっています。それから、文化や各種団体の活動が大変活発です。いろんな活動が活発に行われています。そういうことで皆さんのコミュニケーションが深くなっているでしょうし、いろんな知識のレベルも高くなっているということがあるかと思います。

それから、ものづくりのまちです。一部上場企業の工場がたくさんあります。地場産業でも大変優秀な会社がたくさんあります。

それから、交通アクセス、利便性がいいです。道路事情が大変すばらしいです。具体的には、ご当地で言えば、国道8号バイパスがすぐそばにあります。それから、今度寺井小学校の前の道が能美東西連絡道路という道路になって、根上から辰口まで1本でつながります。それから、来年3月には吉原釜屋に能美根上スマートインターチェンジが開通します。それから、タントの前の道、あれはタントを越えて右側に野球場を見ながら福島の高

うに行くときあたりになっていますが、今後、小松製作所の粟津工場から小松空港の横から、能美市内を通って、白山市を抜けて最終的には金沢港まで直結する道ができます。それから、ご当地からですと、小松空港まで約車で15分です。本当に、振り返ってみれば交通の利便性がいいです。これは、会社の方にとって物流の利便性が大変よいですし、能美市内の市民にとっても、例えば金沢にある工場、加賀市にある工場にも車があれば大変行きやすいです。そういうところも能美市の特徴だと思っています。

それから、特産品です。ご当地ではお米、それからお酒、あとは九谷焼、それから丸芋やユズ等々の特産品が大変豊富にあります。

そして、観光資源もあります。動物園、温泉。あとは、松井ミュージアムなど本当にたくさん観光資源があります。

その他に、北陸先端科学技術大学院大学があります。それから、寺井高校があることもこの能美市の特徴です。

また、各種ランキングが上位です。こういったことを市内外に発信していき、先ほど来申し上げているような移住定住の促進、交流人口の拡大、企業誘致、地場産業の振興、ふるさと愛の醸成を図っていきましょうということを今一生懸命やっています。

いいことばかりではなく、実はいろんな課題もあります。

財政状況は厳しいです。やはり福祉費が年々高くなってきていまして、皆さんへの行政サービスを確保していくためにはどのように財源を確保していくかが一つの大きな課題です。

それから、アセットマネジメントです。これは、老朽化してくる設備、施設をどのように改修、保全していくかということです。能美市内に上水道の配管というのは全部で430キロ張りめぐらされています。これを順次新しいものにしていかないと、皆さんへ水道を供給していけないということがありまして、これは大変な資金と時間がかかります。

それから、高齢者の足（交通手段）の確保ということで、今回のタウンミーティングで一番皆さんから多くいただいているのが、のみバスです。公共交通を何とかしてほしいというご意見、ご要望がたくさんあります。

それから、広域連携の強化です。能美市の人口が減ってくれば単独で行政サービスを維持できません。それから、観光政策です。これも能美市単独でやらずに、例えば近隣の小松市、白山市、川北町などと広域の連携を強化して行政サービスを補完し、観光のための観光商品づくりなどをしていくということを進めていかななくてはなりません。

能美市の魅力を発信していくことを総称してシティプロモーションという言い方でさまざまな展開をしています。その一環として、今まで市役所の1階というのは余り使われてこなかったのですが、多くの市民の方、市外からもお客様がいらっしゃいます。その方々に能美市の特徴をここで見てもらえるようにしようと、今は水墨画と九谷焼を飾ってあります。今後、能美市の特産品や能美市の企業の製品などを飾る予定です。

それから、「広報能美」、これも大きく変えました。例えば、能美市の町会・町内会長さんに登場してもらい、その町会長さんに能美市の魅力だけではなくて、ご自身の町の魅力をここで掲載してもらいご自身の町を発信してもらいたいです。これは、あいうえお順になっておりまして、紙面の都合上、1号当たり3つの町しか出られません。幸い牛島、大長野、小長野、小杉なので早いのですが、「わ」のところは74番目ですので3年後になります。ご当地は早目に出ますので、ぜひごらんいただければと思います。

以上、そんなことをしているということをご紹介させていただきました。きょうも皆さんのほうからいろんな課題や、こんなことをしたらいいのではということをご要望いただいていますので、今、申し上げたようなことも絡めてご質問にお答えをしていきたいと思えます。

【司会】

それでは、“井出市長と語ろう「10年後の未来」”をテーマに皆様からご提案、ご意見を頂戴してまいりたいと思います。

進め方としまして、私からテーマを申し上げますので、それについて皆様からご発言いただきます。そして、井出市長から返答や意見を述べさせていただきます。

① 適正な土地利用について

【司会】

最初のテーマは「適正な土地利用について」です。ご提案、ご意見がある方、挙手をお願いします。

【牛島町民】

先ほどスクリーンのところに4万8,800人という人口がありましたが、5万人を割らないようにするためには、若者の定住人口の増加が望まれます。そのためには、町外からの転入が可能になるよう、有効な土地利用の見直しが必要ではないかということです。そして、長野校下は、保育所、学童保育室、小中学校に近く、保育、教育環境がよく、日常生活に

必要な生涯施設も整い、国道8号線等の道路網のアクセス等も良好です。こうした地の利を生かして住宅地、または企業団地として能美市の発展に努めてもらいたいです。能美市全体の土地利用のゾーニングの中で、長野校下の位置づけについて市長のお考えをお聞きしたいです。

【井出市長】

長野校下というのはいろんな魅力があると思います。とはいえ、4地区ありまして、それぞれ魅力も少しずつ違うと思います。例えば大長野は、この間保育園、児童館ができました。小長野は、旧国道8号沿いに商店街も広がっています。それから、牛島は、豊かな田園風景が広がって、比較的小学校も近いです。小杉は、インター八里線があって、交通の利便性がよいです。長野地区といえども町内を見れば、それぞれにまた特徴があります。

この地域というのは能美市内の中でも比較的住みやすい地区に位置づけられると思います。具体的な数字で申し上げますと、能美市の8月1日現在の人口というのは、5万52人でした。それが、9月1日現在で5万83人です。31人人口が伸びました。そのうち長野地区で9名伸びており、やはり、このような数字を見てもこの長野地区は住みやすいところで、ここに住んでいる方もずっとここに住んでいたい、ほかからも、移り住みたいというような方がいる地域なのだと思います。

そんな中でこの地区をどうやって開発していくかですが、まず一つは、大規模な住宅地開発です。これは、この地区は大変優良な農地で、なかなか難しいことは皆さんにもわかってもらえると思います。それで、集落の近隣の土地を少しずつ需用に合わせて住宅開発をしていきます。例えば、それぞれの町内の若い方が他所に行かずにそちらに住んでもらうという政策が私は大変有効と思います。

それから、国道8号沿いの道は、まだ開発できる場所があると思いますので、そのあたりは、民間業者の力を借りながら開発をしていきます。加えて、農業に携わっている方もいます。そこを大規模に宅地化していくとなると、この土地の自然景観のすばらしさを損なう可能性もあると思いますので、それぞれの地域の特徴に沿ったものを伸ばしていきます。そして、トータル的にこの長野地区全体の繁栄を進めていくことが、私は長野地区に課せられた今後のまちづくりのポイントだと思います。

②高齢者福祉の充実について

【司会】

次のテーマは「高齢者福祉の充実について」です。

【牛島町民】

空き家対策とも関連する提案ですので、まず空き家のことについてです。空き家の問題は何も能美市だけ、牛島だけの問題じゃなくて全国的な大テーマだと思います。ほかのタウンミーティングでも空き家の問題は提案があったと思いますが、牛島で話し合ったときに、空き家対策と高齢者福祉をドッキングさせたような提案がありました。つまり、老人施設、高齢者施設に（入るため）待機している人たちの一時的な空間として空き家を利用できないかという提案です。きっと、施設の事業要件であったり、そのスタッフの人たちの問題であったり、いろいろ問題はあると思いますが、アイデアとしてはおもしろいのではないかと思います。市長さんが掲げられる10年後の未来ということからすると、空き家の問題は、ここにお集まりの人たちも無関係でない人たちが若干いるのではないかと思います。ぜひ、ご検討いただきたいと思います。

もう一つは、これは、若干私の個人的な思いですが、私を含めて多くの人たち、現在空き家を持っている人たち、予備軍の人たち、10年後にそういう身になる人たちは、空き家問題は個人の問題であるという認識が大変強いのですが、実は空き家は個人の問題ではなくて社会的な問題で、新たな社会テーマであるという認識を、セミナー等を通じて（周知が）必要なのでは、という気がします。

その2点について、2点は提案ですが、高齢者福祉と空き家について、市長さんのご見解、10年後のビジョンをお聞かせいただきたいと思います。

【井出市長】

本当に今おっしゃったように、空き家というのは社会的な問題でして、能美市の中でも大変重要と言いましょか、難しい課題の一つです。

空き家と言いますと大きく分けて2つ、していかなくてはならない政策があると思います。まず一つは、空き家というのは旧市街地と言うか、集落の中で空き家になっていると、やはりそこに人が入っていかないと旧集落の賑わいの創出が失われてしまいます。昔は家々に必ず人がいて、見守り隊になったりコミュニケーションがあったりしていたのですが、空き家になってしまうと旧の集落がどんどん疲弊して行ってしまいます。これを何とかしなくてはならないのが1つ目だと思います。

もう一つは、空き家が危険な状態になっているということです。いつ倒壊するかわからないような空き家があって、それをどのように解消していくか、この大きく2つの問題があるのではないかと考えていまして、それぞれ再利用することが最終的な目標なのですが、それに向かってどのようにしていくかの手法がちょっと違うので、今、いろんな取り組みを始めています。

今、介護施設として利用することも、私も、この質問を読んで、なるほどこんな使い方もあるのかなと、実はいろんなことを調べました。

まず、その前に、能美市が空き家対策としてやっていることですが、今、約430軒空き家があると把握しています。そんな中で、実際に使われているという事例は、一つはお店として使っています。古民家を利用して新たな魅力を創出しようという動きがあります。それから、民間の不動産屋さんが、空き家をぜひ新しい住まいにされないかという取り組みをやっています。

それから、能美市も今、登録をして、再利用してもらおう空き家バンクというのを設けています。少し手直しするための助成金を出しています。それで何とか空き家を有効活用してもらえないかという取り組みを一生懸命やっています。

ただ、その一方で、古くて使いづらいとかで、なかなか空き家が解消していかないのも実態としてあります。その中で、老人介護施設として使えないかということなのですが、老人介護施設として使うという場合には、例えば全てバリアフリー化しなくてはなりません。それからスプリンクラーをつけなくてはなりません。それから、耐震のための補強もしなくてはならないということで、結構お金がかかってしまうという面があります。

それから、空き家が集落の真ん中にある場合に、こういった施設では昼間、皆さんで歌を歌ったり、夜間、声を出したりすることが多いとなると、なかなか周囲の方の理解が得られないとか、ちょっと言いづらいのですが、おむつなどの処理をしたりして、臭いので地域からクレームがあったりするという事例もあるそうです。そうなってくると、なかなか実態とすると難しいのかと思います。ただ、こういったことをうまくできる、実は国の助成金もあります。そんな助成金を活用しながら、利用できる物件もあるかもしれないので、我々もそんな利用ができるものがあれば活用していきたいです。

③ごみ処理と環境美化・消防防災体制の強化について

【司会】

次のテーマは「ごみ処理と環境美化・消防防災体制の強化について」です。

【牛島町民】

特に、環境美化と防災という観点から意見を述べたいと思います。

市長さんのおかげで鍋谷川の心配は大分減って、この間の台風でも、余り心配ありませんでした。1つ心配事が減ればまたふえるという形で、今、ちょっと気になっているのは八丁川です。これは非常に能美市でも自然豊かな川なので、絶滅危惧種のトミヨがいます。牛島としても保育園児から小学生の土曜クラブがありまして、年に一度夏に自然環境を考えということで、鍋谷川の中に入っているいろんな魚をとり、環境を見て歩くのです。そこで私も何度か入っているのですが、非常に土砂の堆積があるわけです。そうすると、そこにまた草が生えて、大きな川なのですが、（大雨等で）水かさがすぐに上がってきます。何年か前に、6月ごろでしたか、一時避難したことがあります。この前の台風で、下のほうですが、小松市のほうで避難準備が出ました。災害は起きてはいないのですが、これから気になるのは50年に一度とか、かつてない集中豪雨が降るともいろんなところで聞かれますので、土砂の撤去とか、環境美化に関してまた市長のお考えをお願いします。

【井出市長】

土砂災害警戒情報というのが7月以来4回流れました。雨の量がある一定量になったとき、土砂崩れの危険性のある場所が能美市内のどこかにあると、金沢气象台と石川県のほうで判断をしてそういった情報を流すことになっています。この間も土砂災害警戒情報が流れたときに梯川の水位もぐんと上がり、ある場所で、梯川が氾濫危険水位を超えたということで、小松市内に避難勧告が出ました。能美市でも鍋谷川が氾濫する危険性があると我々も考えまして、避難準備というのを小杉と大長野町の一部に出させていただきました。本当に雨というのは、我々が思っていた以上に集中して降るので、危険性が高まっています。

我々も努めて川の状況、そのほかの雨の降り方の状況だとか土砂災害の状況を見るように努めております。ご指摘の八丁川のほうも、土砂災害警戒情報が流れたからではなく、ずっと見ていまして、危険なところは、これはまた県の協力も得なくてははいけませんので、我々もきちんと県のほうに早急に対応してもらうようにやっています。また、皆さんのほうでここは土砂がたまっていて危険なんじゃないか、護岸が少し傷んでいるところがあ

るよということも言ってもらえれば、しっかりと対応していきたいと思っていますので、引き続きいろんな情報をもらえればと思います。

④道路の整備、観光・市のブランド化について

【司会】

次のテーマは「道路の整備、観光・市のブランド化について」です。

【大長野町民】

先日、第2次能美市総合計画を見せてもらいましたが、本当に膨大な内容でして、市長さん初め市の方、これをみんなやろうとしたら大変だと思いました。やっぱり、行政のほうでしないといけないことはもちろんありますが、住民のほうでも、自分たち独自で何かやっていき、そういう中で市の行政とタイアップしながらいろいろできればいいなと思っています。一応、行政のほうと住民側ということで、2つに分けて適宜言わせていただきます。

道路の問題につきましては、8号線が非常に重要なバイパスになっていますが、その中で、今大長野から南のほうは4車線化の工事がなされています。これは市長が県議の時代にいろいろご尽力いただいたとお聞きしています。その中で、能美市内に4つのインターチェンジがあって、3つは比較的スムーズに市のほうに入れるのですが、大長野、西のインターチェンジは、片側に1車線ずつで狭いので非常に窮屈です。ぜひ、今のこの4車線化の中で合わせて2車線ずつ、そこの部分だけでも広げてもらいたいです。もし、そこがスムーズにいくとしたら、大長野西から九谷陶芸村、クワハウスのほうに1本で行けますし、それから、お客さんも8号線のところにスムーズに上がれると思います。これは毎年大長野の要望で上がってきます。毎年上がってもなかなか実現しないということは難しいのかと思っているのですが、何とかできないかと思っています。

それから、住民の側としてできることということで、大長野町ではご存じのようにかかし街道を、農道にずらっと、今年は24体のかかしをつくりました。3年目になり、今年のオープニングには市長にもきていただいたのですが、そうすると、マスコミなどでも取り上げられます。新聞はもちろん、テレビ小松でも放送されていました。

私たちがかかしの会で印刷デザインをやっている方がいまして、SNSで昨年から発信しているのですが、全国から、やっぱり何百というアクセスがあり、能美市大長野のかかし街道ということで必ず能美市が入ります。これは能美市のいしかわ動物園、能美市の先

端大と同じように能美市のPRになっているのかなと思います。そういう中で見られた方の1人が最近珠洲の奥能登国際芸術祭に行かれて、その戻りに大長野のかかし街道に寄られて、いっぱい写真を写して、コメントをくださいました。東京とかの関東方面の方と我々は憶測しているのですが、彼も（インターネット上に）載せてくれて、それを見る人がまたいるということで、広まっていくのではないかと思います。これからも、来年、再来年と大長野としては続けていく予定ですので、私たちの町としてそれは進めていきたいと思っています。

今話をしました珠洲の奥能登国際芸術祭、私も数日前に行ってきました。39のアートが市内一円、あちこちにあって、1日で見るのは難しくて、私も10カ所ほどしか回れませんでした。そのうちの1つに廃線になった能登線の上戸駅というのがあり、その駅舎は、ぼろぼろなのですが、駅舎と同じ形でその上に鉄骨ですか、要するに柱組だけつくって、そこを夜ライトアップするのです。これはインドの方の作品らしいのですが、いくら朽ち果てた駅舎とはいえ歴史があります。住民の人たちも愛し、利用しています。それを大事にする、上に同じものをつくったということで非常に感動したのです。いろんな若い人、お年寄りのボランティアの人が関わっているのですが、その場所では、おじいちゃんがボランティアをしているのです。いや、これはすばらしいものだとか大きな声で皆さん言っているのです。ほんの1つのアートなのですが、地域のお年寄りを元気にしたことをまた私自身実感して非常にいい時間を過ごさせてもらったと思います。

ですから、行政ですること、それからうちらが今からできること、そういうものをお互いに進めていったらどうかと思いました。

【井出市長】

まず、道路の件というのは、交通量と費用対効果という話だと思います。それで、今までいろんな要望を重ねてきましたがなかなか実現してこなかったのだと思います。

実は今、その大長野の西交差点から最終的には小松警察署のあのあたりまでフルの片側2車線にしようという計画があります。第一次に、梯川の橋が老朽化しているので拡張する必要があるため、小松警察署のところから長田の交差点までを広げる計画があります。それが終わった後に、長田の交差点から大長野まで広げる計画が、今、練られ始めています。まだ決定ではありません。そのときに、やはり交通量が多くなることが予想されます。そのときに合わせて今言われたようなことができないか、市、南加賀土木事務所のほうからも道路行政のところにも相談をしたいと思っています。

それから、「かかし街道」の件なのですけれども、これは、多くの観光客が訪れてしまうと車の量がふえます。そういうことになると、かかしをつくった本来の意味というのが少し心配されるのですが、よろしいのですか。交通事故を撲滅させようということで「かかし街道」をつくられたと聞いています。ただ、あれだけ皆さん一生懸命されたところを名所にするのも大変必要なことだろうと思います。そこは、またおっしゃってもらえれば、我々もいろんなところで発信していきますし、それから、能美市内のいろいろな観光資源と合わせて商品づくりをして市内外に発信していくことで、またこちらのほうに多くの方がいらっしゃるといこともできます。そこは、また「かかし街道」の位置づけを皆さんのところで話し合っていて、私のほうに話してもらえればなと思います。

⑤地域医療の推進について

【司会】

次のテーマは「地域医療の推進について」です。

【大長野町民】

以前、ヘルパーだったときに福祉課の職員の方から電話がありまして、「寺井地区に骨接ぎ、整骨院がたくさんあるけどどうということだろうね」と尋ねられました。いや、私もわかりませんと言っていたのですが、後から思ったら、大きい病院がないので整骨院が開業しやすかったのではないかなと（思いました）。

それとは反対に、寺井地区に外科の病院がないように思います。高齢者や子供さんがけがをした場合、すぐ行ける病院がないのです。寺井病院には以前外科があったように思うのですが、今はないと思います。辰口の芳珠記念病院などは紹介状がないと別料金がかかるそうです。しかし、けがをしていちいち救急車を呼ぶわけにもいきませんし、そういうわけで寺井地区に外科の医院か病院ができたらいいと思います。

【井出市長】

昔、前田医院というのがありまして、私もよくけがしてあの先生に何針も縫ってもらいました。

私も知らなかったのですが、外科といっても整形外科、一般外科、形成外科、消化器外科と色々な外科があるそうでして、今おっしゃったちょっとガラスが刺さったとかけがして転んで血が出てきたなどの場合に行く外科というのは整形外科というそうです。整形外科は実は寺井地区には水本整形外科医院があるのです。

私も外科と言ったら縫ったりするところだと思っていたのですが、正確には整形外科というところが縫ったりするそうで、外科というのは（臓器を扱う）手術をするようなところをいうそうです。それで、寺井地区は、もしそんなこと（切り傷等）になられた場合には水本整形外科医院に行っていただければ、きちんと処置をしてもらえます。

確かに、寺井地区には大きな病院はないかもしれませんが、芳珠病院も車で行けば15分ぐらいで行けますし、ぜひ能美市内の病院を活用していただければと思います。

⑥スポーツの振興について

【司会】

次のテーマは「スポーツの振興について」です。

【大長野町民】

10年後の未来、幸せがあるように、これからの高齢化社会は、子供たちと触れ合う場所をぜひとも継続して残してもらいたいと思います。今の体育館はこの次に大きな補修がかかったときにはないものと思うように言われていますので、10年後の未来、元気に暮らせる体育館はぜひとも継続して残してもらいたいと思っています。

【井出市長】

大長野体育館、調べましたら本当によく使っています。フットサルにも使っていますが、実は、本当は体育館でフットサルとか少年野球は使用できないのです。あの体育館は将来的にはなくしますという方向性だったので少々荒っぽい使い方をしていても目をつむっていたということです。

ではどうするかという話なのですが、直すとなると実は2億円ぐらいかかります。耐震化になっていません。耐震化させて、全部周りも直して、大規模改修と言うのですが、約2億円かかります。2億円かけてしまうと、きれいになるので、そうすると少年野球もフットサルも使わせてもらえなくなります。そこをどうするかなども悩んでいます。それで、今年度見直すということになっているので、実際に使っている団体、それから地域の皆さんの声を1回聞いて、それで、この体育館をどうするか、最終的に判断したいと思っています。

⑦商業の振興について

【司会】

次のテーマは「商業の振興について」です。

【小杉町民】

まず、能美市南部地域の開発ということで、一番初めの「土地の適正利用」にも通じるところがあるかもしれません。

まず、能美市を東西南北で区分した場合、南部地区というのはこの長野校下で、国道8号バイパス、それから主要地方道小松寺島線、小松インターチェンジ、小松空港、JR小松駅に近接して交通アクセスが非常にいいです。この辺は田園風景が素晴らしいというお話もありました。小杉町の南側に10ヘクタールぐらいの土地があります。寺井地区は案外北側には栗生の近辺とかあの辺に、鉄鋼団地とかができているのですが、南部地区に限ると、ああいう商業、工業というものが無いように思います。あの10ヘクタールの広さの土地を、ここ10年後の未来ということで、開発していく、そういう計画があるのかなのか、今後、どうなるかということをお聞かせいただきたいと思います。

【井出市長】

私もあの場所というのは交通アクセスの点から、それから、人口の集積の状況から見ても一等地だろうと思います。ただ、あそこは優良農地で、なかなか外せないというのが実態です。加えて、今、白山頭首工（農業水利施設）が新しくなると、さらになかなかできないというのがあります。それから、これは開発の条件で、一定程度の面積のところを開発する上では10ヘクタールではだめで、50ヘクタール以上ないとできないという、そんないろんな条件もあります。

それから、それだけ大規模なものを開発していこうとなると、どこかの商業施設にそこに来てもらわないとだめです。沖町にショッピングモールができて大変な賑わいを見せているときに、なかなかハードルは高いのかなと思います。ただ、おっしゃったように、場所はいいところではあるので、どのようにクリアしていけるかも、地元市議員さんとも、ご相談しながらしっかりこの地域の開発に取り組んでいきたいと思います。ハードルが高いということをご理解をいただきたいです。

⑧公共交通の充実について

【司会】

次のテーマは「公共交通の充実について」です。

【小杉町民】

「のみバス」のことです。市長のフェイスブックでも「のみバス」に乗ったとありました。それで、辰口、能美根上駅からの連携バスと、循環バスの2点について、ご意見をいただきたいと思います。

最初に、辰口、能美根上駅からの連携バスについてですが、朝夕コースは本当に通勤通学に利便がいいと思います。あと日中コースとして北コース、そして南コースと2つあります。南コースは石子からふるさと交流センターを通過して寺井を抜けますが、その南コースに長野校下を巡回してほしいと思います。北コースについては、辰口から根上まで64分。南コースが55分。10分ほど早く着きます。ただ、10分で小杉まで戻ってくるというのはちょっと難しいので、15分から20分ほど余計時間がかかるかもしれませんが、日中のことですから、ちょっと時間がかかっても、ぜひとも長野校下経由に変更してほしいと思います。

なぜかと言いますと、この長野校下で市民病院に通う場合、家族がいればよいのですが、足（交通手段）のない人は行けないのです。三、四年前まで、小杉のこの循環バスが9時前後にあって、小杉の人はそれに乗って、連携バスに乗りかえて市民病院に行かれていたそうなのですが、今、10時17分に出ます。そうすると、絶対に市民病院には通えないので、今行っているのは送迎バスのある芳珠病院です。ぜひとも変更してもらいたいです。

それから、循環バスについては、あんまり人が乗っていないように思います。事実、私の90歳過ぎのじいさんなのですが、昨年免許証を返納したのです。それで、無料バス券をいただいたのですが、1回も利用していません。なぜかと言えば、3本しかありませんから、時間も便数もないということで、行きは行けるけど、帰りはタクシーか、歩いてこななければなりません。それで、また別の方法がいろいろあるという話で、デマンドバスを今後考えたらどうかなと思います。調べましたら、結構全国でこの方法をやっているところがたくさんあるそうで、能美市もそういうふうに循環バスについては考えてほしいと思います。

【井出市長】

「のみバス」というのは、今、連携に3台、循環に寺井1台、根上1台、辰口1台で合計6台使っています。平均乗車率、1車当たり大体7人です。このダイヤとルートがどの

ように決められたかと言いますと、市民の皆様アンケート調査をして、それで決めて、決めた後に市の職員が実際にバスに乗って、いろいろ聞いて、今のそういったルートになっています。でも、たくさんの方から何とかしてくれというお話を聞きます。

私もこの間から何回も「のみバス」に乗っています。あるルートの連携バスに乗った道筋を紹介しますと、能美根上駅スタート、ずっと県道を下りてきて、寺井高校、吉光、フィッシュランド、新保、下清水、上清水、緑が丘、芳珠病院、湯寿園、クワハウス、動物園、辰口のショッピングセンターに行って福祉会館に寄ります。ちょっと連想してみてください。こんなものになっているのですよ。皆さんから、うちの町寄ってくれ、寄ってくれと言われると、結局はこういうことになってしまうのが現状です。私も、大長野、小杉をこの南ルートに入れたいとは思いますが、そうしたときに、今言ったところも全部通って行かなくてはならないので、全部寄るようにして本数を稼ぐか、それとも間引いて直行するような本数をつくっていくかという（話になります）。本数を減らすと、行きは乗れるけれども帰りは乗れないとなることも実態で、これ何とかしなければと思っているところです。

それで、今おっしゃったデマンド型ということを考え始めています。「のみバス」は「のみバス」として基軸のところを走らせます。それぞれ、買い物に行きたい、病院に行きたい、温泉に行きたいという需用のために個別にやるのをオンデマンド型というのですが、そんな方のために別の手段を設けなくては、やはり能美市民の皆さんの満足を満たせないのではと思います。ただ、その裏側にあるのは費用がかかるということです。今「のみバス」で年間8,000万かけています。台数をふやせば、その分運転手さんも必要ですし、結局、利便性を確保するためにはどうしてもそういった財源が必要になってきます。その辺をご理解いただいて、何しろこの「のみバス」に関しては多くの皆さんから何とかしてくれという要望をもらっていて、企画振興部で（対策を）練っていますので、もうしばらくお待ちいただいて、こんな形でどうだろうということを皆さんにご提言、ご相談する機会をつくって、満足いく公共交通体系を確立していきたいと思っています。

⑨生涯学習の推進について

【司会】

次のテーマは「生涯学習の推進について」です。

【小長野町民】

女性会の会員は年々減少傾向にあります。特に、活動に参加する会員は役員といった状況です。任意団体という性格上、町会等に働きかけても限界があります。地域の担い手、防災活動での役割を考えると、必要な社会団体だと思います。仕事で参加できない、ほかのことで手がいっぱい参加できないなどの理由で加入が進まない状況です。女性会の育成を市のほうでも積極的に取り上げてもらうことができないのでしょうか。小長野町（の女性会の確保）なのですが、全体としてどこの地区も女性会の会員は減少しています。

【井出市長】

市の職員や妻、女性の方に何人かいろんな話を聞きました。婦人会か女性会かに入ってもらうために魅力を高めるということで、もっと行事やイベントをふやしたらいいのではないかと思います。例えば、メイクアップ教室とか、おしゃれ教室とか、そんなことをもっとたくさん開催してもらえるようにすればいいのではないかと、市のほうでそんな後押しをしたらどうかという話をしていたのですが、ある方からは忙しくて、そんなたくさんイベントだとか何だとかやってももらっても出られないから、少なくしてほしいと言われました。魅力を感じてもらえるようにイベントを開催したほうがいいのか、本当に少なくしたほうがいいのか、だんだん私自身がわからなくなってきています。

【小長野町民】

小長野でも今年度女性会の会員と全世帯にアンケートを回していろいろな意見聞いたのですが、やっぱり、意見がいろいろ、もう（女性会は）なくてもいいという人と、やっぱりいろんな防災とかいろんなことで女性会の力が必要だという意見とか、人それぞれいろんな考えがあるのだなという結果でした。

あと若いお母さんにもどんどん入ってきてほしいのが、子供が小さいとやっぱり夜はそういう会に出るのは難しいし、中学生ぐらいになるとちょっと出られるのですが、高校生になると、また送り迎え、雨が降ると迎えに行かなくてはいけないとか、いろいろ出られないことがまた出てきて、結構難しいです。

【井出市長】

今から20年ぐらい前ですかね、恐らく女性のコミュニケーションを深めるために女性会

というのはあったのだろうと思うのですが、核家族化して子供のお迎えだとか、今いろんなサークルだとかほかにイベントがあつて女性もいろいろ出ているので、そんな女性会の会合があつても出られないというのが実態だと思います。

ただ、我々市のほうからすると、やっぱり女性会というのとはなくてはならない存在で、例えば行政のことを進める上でも女性の意見というのをたくさん聞きたいです。きょうも男性が多いです。いろんな会合で女性の意見を聞くとなると、やっぱり女性会の代表の方に出てきてもらうので、大事な組織だと思います。それから、町のいろんな行事を進める上でも男性ばかりではできないので、女性会というのとは貴重な存在です。本当に裏腹なところがあつて、実は、きょうもどうしていいか結論を見いだせないまま来てしまいました。一度またこの問題だけに絞つて、婦人団体協議会の方にお声がけをするのか、単体の皆さんにまでお声がけするのか、こちらでちょっと一遍考えてご相談させてもらう機会を設けたいと思います。何しろ、大きなことをやったほうがいいのか、少ないほうがいいのかという境目でどうすればいいのかを迷っているので、ご理解、ご支援いただきたいと思ひます。

⑩学校教育の充実・子育て支援の充実について

【司会】

次のテーマは「学校教育の充実・子育て支援の充実について」です。

【小長野町民】

5点についてお教えいただきたいです。

まず、ゆとり教育からの脱却と言いますか、そういった面で土曜日の授業を復活させることができないかということです。

そして、2点目は、子供の弱点、長所をわかりやすくするために、現在通知表の評価が3段階になっているのですが、それを5段階にできないかということです。

そして、3点目は、教科書が今無償化されていますが、教材、書道やピアノカ、そういったものも無償化、もしくは半額補助を検討できないかということです。1回のみで、破損などがあつた場合は（再購入は）当然個人負担にしてもらえればと思ひます。

そして次に、通学路の安全対策です。歩道があれば当然それを利用しますが、集落間の場合は歩道が整備されてないので路側帯等を整備してほしいです。できればカラー舗装にするなりして、ここが通学路になっているということを明示してほしいと思ひます。そし

て、これは大長野町からの要望でもあるのですが、通学路の横にある用水路、これを暗渠化して安全対策を確保してほしいです。

(通学路ではありますが) 高齢者も安心して散歩ができると思いますので、ご検討をお願いしたいと思います。

5点目は、学童クラブの条件緩和です。小杉町からの要望です。保育の関係については学校からの帰宅時に保護者がいない家庭が対象になると認識しています。学童クラブに通っている子供と、自宅で祖父母といる子供との間に多少日常の活動の中で疎遠になる面もあるということで、3世代同居であっても、祖父母が常に在宅というわけでもないのに、こういった面も少し配慮して、条件を少し緩和できないか、ご意見をお伺いしたいです。

【井出市長】

本当に内容の濃い教育に関すること5点頂きました。

まず、ゆとり教育ということに関してです。土曜日が休みになったときに、日本全国の中から学力が落ちるのではないかとさまざまな指摘があったことはご承知だと思います。それを受けて、今は5日の中で、過去6日でやっていた授業をしっかりとやれるように、ここは仕組みが変わっています。ゆとり教育以前の時間をしっかりと5日間で設けるように改善がされてきています。加えて、土日の有効活用もその一方で進んでいまして、いろんなスポーツクラブをたくさん設けられたり、少年少女サークルということでいろんな文化団体の方々がサークルを設けて文化に親しむような時間をつくってあったりします。それから、親子のふれあい、地域とのふれあいを土日にしっかりと持ちてもらい、その土日を有効活用していくことになってきていますので、私はこのままやっていくのがいいのではないかなと思っています。

それから、通知表のことに関してです。私は3人の息子がいて、一番下の息子がもう大学生で、実はご質問いただきまして久しぶりに通知表というのを見ました。以前もこうだったらしいのですが、なるほどと思いました。おっしゃったとおり3段階の評価ではあります。ただ、その3段階の評価でも、例えば国語という教科であったら、その教科1科目だけでただ単純に3段階で評価しているわけではなくて、観点というところで、数項目にわたって評価をしています。この通知表というのはそこで評価をすることだけではなくて、やはり、向上心を持ってもらうアドバイスをするためのペーパーでもあって、このペーパーをお配りするだけではなく、しっかりと学校の先生がこのことに関して保護者と話をすることで補完しているものなので、私は結構できていると、しばらくはこのまま進

めていくほうがいいのではないかと考えています。

それから、教材等々を無償化したらどうかという提言もありました。今おっしゃったものが年間でどれだけかかっているか調べたところ、総額で約2億です。それを半分保護者、半分能美市となると1億です。能美市の予算が約220億なので、1億を出すとなると、なかなか難しいのが正直なところですが、ただ、生活保護の必要な方などのところには別途援助するような仕組みもあるので、そういった方にはそういう制度を利用してもらい学校に通ってもらえればと思います。

それから、通学路の安全確保に関してのことですが、カラーリングをする、それから暗渠にする、これは必要なことだと思います。これは町会にもご協力してもらおうところがあるので、ぜひまた個別にここをしてほしいということをお伝えいただければ、必要なところから順次施していきたいと思っています。

それから、放課後児童クラブに通っている方の問題なのですが、これは、祖父母と同居の世帯でも、高齢であったり、児童が家に帰ってきたときに誰もいない場合であったりする世帯は放課後児童クラブで預かる制度もあるので、またそういう方がいらっしゃれば、教育委員会のほうにいただければと思います。それから、その中でトラブルがあるのであれば、具体的にお気づきのことがあったら教育委員会のほうにぜひお伝えください。やはり、そんなところでトラブルがあってはならないことなので、それは教育委員会のほうでしっかり対応します。

⑪その他について

【市民】

市長がきょうも最初に人口減少対策、移住定住の促進を声高にうたっておられました。そのためのIターン、Uターン、企業誘致等は市長の言われるとおりだと私も常々思っています。

そこに、いま一つ人をふやす観点というか、人を減らさないという視点から提案があります。それは、一言で言えば、自殺者をこの能美市からなくしましょうということです。自殺者ゼロ対策のまちづくりです。能美市では、自ら命を絶つ人が毎年10人前後います。人口が5万人を超えたと言われていますが、私は能美市にこういった自殺者がなくなれば、5万人なんてもうとっくに達成できていたと思います。また、今後も人口を減らさないためにも、ぜひ取り組んでいただきたいです。何も取り組んでないとは言っていないで、福

社課を中心に非常に力を注いでいることはよく私も承知しています。その成果というものも一朝一夕に出るものとは思っていませんが、いま一つ、何かが足りないのではと思っています。それは、行政の今までの対応が非常に総論、総花的に対策が実行されているのが大きな原因ではないかと思っています。

能美市には、他市町にはない福祉総合支援センターという組織があります。私はこの組織ができたときに大変期待しました。いわゆる行政の縦割りとか横割りの弊害がこの組織によって取り除かれるのではないかと、自殺対策だけでなく、いろんな問題が解決されることを期待しました。

しかし、事はそれほど簡単には進まず、経年別の自殺者の数もこの10年、10人を前後しています。100人以上の方が能美市になってからも亡くなっています。自殺者ゼロ（減らすこと）は、住みよいまちづくり、これからもずっと住んでいたい能美市ということに絶対結びつくものと確信しています。ぜひ、この能美市から自殺者がなくなることへの能美市独自の具体的な施策の実行に向けて、井出市長が先頭に立って旗を振っていただくことを期待しています。

【井出市長】

自殺者に対してどういう政策をとっていかの具体的なお話はできないのですが、今、能美市の中でも高齢者対策をどうするのか、あと、介護が必要な方、それから障がい者の方（へのサービス）をどうしていこうかということに一生懸命取り組んでいるところです。具体的に言えば、「我が事・丸ごと地域づくり推進事業」という、（地域づくりを）人ごとではなく、自分のことのようにやっていくという政策を、今やっています。それで、いろんな切り口があるのですが、その切り口の1つに、自助、互助、共助、公助という4本柱があり、それをどう組み合わせサービスを充実させて弱者の方を手助けしていこうかということを考えています。自殺される方というか、そんなお悩みの方も、何をお悩みなのか、それから、そのお悩みに対して行政としてどんな形で手をさしのべられるのかということ、検討をしていきたいと思います。

【市民】

先ほど冒頭で能美市というのはあんまり知名度がないと話がありました。小長野の地区で能美と書いた土器のかけらが出たのですが、何かかなり古いものらしく、多分博物館に置いてあるのではと思います。そのミニチュアというか複製品をつくってガラスのケー

スに入れて、ここで、こんな形で出たんやぞと、出た場所に埋め込むという（提案です）。

能美市というのはものすごく昔から能美郡（のみごおり）があったのですかね。歴史の古い土地だということを看板にも記して、そういう史跡の看板的なものを一度検討してもらえないかと思います。

【井出市長】

小長野のその場所に設けるということはまた検討したいと思うのですが、その関連の話では博物館を新しくする計画をしています。今、辰口地区に博物館があって、それから、和田山のそばに歴史民俗資料館があります。これが老朽化して手狭だということで、和田山史跡公園に新しい博物館をつくる予定をしています。そこには、ふるさと愛を醸成できるような、まさに能美市の歴史、それから今の能美市をわかってもらえるような、そんな博物館にしたいと思っています。

それから、その遺跡が発見されたのは、823年です。2023年、それから1,200年たつこの年は北陸新幹線敦賀開業、新幹線小松駅ができる、そんな年でもあります。そのときに合わせて、能美という区割りができて1,200年という冠をつけてこの能美という名前を発信していく、そんな機会にもしたいと思ひまして、今言われたことも参考にこの能美という名前を広く発信をしていきたいと思ひます。

【大長野町民】

公共交通機関として質問と要望をさせていただきます。

先ほどからありました「のみバス」などの連携バスです。実際私も市立病院に行きたいのに（のみバスに）乗れない状態なので車を何とか運転して行っています。やはり、調子が悪いときに行くのは不安な面があります。定期的なものですのでいつも家族にお願いするのはかなり気をつかいます。「のみバス」の循環バスから連携バスにうまく連携できるようなダイヤや本数がぜひともほしいです。

それから、新幹線が開業した後も含めた市外、県外からの観光客の呼び込みということも含めて、一つ提案します。県立ではありますが、いしかわ動物園が能美市の貴重な観光資源の一つであると思ひます。現在、公共としては循環バス、ある程度のバスはあるのですが、市外、町外の方が乗れる状態ではないので、（そのような方が訪れるには）もう基本的に自家用車しかないです。しかも、バスとしては小松市からの本数が少ないバスだけが頼りということも考えると、一つ提案なのですが、能美根上から陶芸村を經由していし

かわ動物園に行くようなものを土日でもいいので、午前は何本か、それから午後は何本かをつくることによって、夏休みでしたら中学、高校生ぐらいの方だったら家族とか大人を頼りにしなくても動物園に来られるかなと思います。以前、テレビを見ていますと、トキを見たいということで福井から女性の方が来られていました。能登に行って、それからどうしてもトキを見たいからとわざわざ寄られています。多分、車で来たのだと思いますが、これがやはり貴重な観光ということで、トキをPRしていく一つとしても能美根上から直通のバスがあれば、もう少し金沢とか市外の方、もしくは県外の方に来てもらえるかなど。そういうこともありますので、提案、要望として検討いただきたいと思います。

【井出市長】

「のみバス」を生活のためにどうしていこうかということは先ほどからお答えをしておりですので、今、ご要望としてお伺いをさせていただきます。

それから、観光として「のみバス」をどう利用していくかですが、先ほどから申し上げているように6台しかないバスを直通にしてしまうと、また市民の皆さんからもうちょっとうちのところに回してくれという声も出てくるのではないかと思います。今、金沢駅から直通でいしかわ動物園にバスが出ています。高校生とか中学生は車が運転できないので、やはり、何らかの交通手段がないといけないと思います。そのあたりはどれぐらいの需用があるのかということをしっかりつかんで政策を考えていきたいと思います。

【小長野町民】

寺井中学校と韓国の大徳(デトク)中学校との交流なのですが、うちは上の息子のときも下の息子のときも受け入れをさせてもらい、行かせてもらい、とても楽しい思いをさせていただいたのですが、年々受け入れ先が減ってきており、今年に至っては本当に2回目、3回目という方が受け入れをしています。うちも2回目で、上のときに3名、下のときも3名です。3名も受け入れると、本当のことを言うといいようにしてあげられません。本当にただ受け入れて、一般家庭を味わってもらうだけです。そんな中で、能美市で遊べる場所といたらクアハウス、いしかわ動物園です。市のほうで少し助成してもらえるといいかなと思いました。というのは、うちの息子と合わせて4名、2日間クアハウスに行くとなると、団体割引になって1,280円の4人分の2日分、結構な金額になると思います。食事とか、そういうのにお金がかかるのは、行ったときもそう（お互い様）ですし、預かるときも日本のご飯を味あわせてあげられるのですが、遊ぶとなるとやっぱり負担になる

と思います。そういうのを市で少し助成してもらえれば受け入れの家庭もふえるのではないかと思います。

【井出市長】

本当に受け入れてもらえるところがなくて、我々も困っていたところです。その一方で、子供たちにグローバルな心を宿してもらい、そのためには国際交流は進めていかななくてはならないと思います。その中で、今言われたことはごもつともだと思いましたので、一度検討させてもらいます。公共施設を利用する場合に何か特典や助成ができないかを検討させてもらいまして、政策としてまたお伝えします。

【司会】

最後に井出市長がご挨拶を申し上げます。

【井出市長】

本当に大勢の皆さんにお集まりいただきまして、ありがとうございます。

さすが長野地区だと思う質問がたくさんありました。いろんなところでご質問をいただいている中で教育関係の質問でこれほど深いところはなかったですし、地区全体の質問を総括するようなご質問、それぞれの分野でも大変掘り下げたご質問もたくさんいただきました。私自身もこうやって皆さんと意見交換することで勉強をさせてもらっていて、きょうもご質問いただいたことを自分なりに掘り下げます。それから、市の職員も、どう応えようかということで、今までやっている仕事を全然違った観点で見ることができます。タウンミーティングをやることで市の職員も、私自身もいろんな方面で期待できるのかなと思います。

このタウンミーティングもきょうが13回目です。明日の湯野地区で、これで町会単位のタウンミーティングは終了の予定です。きょうもいろんなご意見をいただいたのですが、もっと掘り下げた意見、ご要望も聞きたいという思いで、今後はテーマ別のタウンミーティングによいよ入らせてもらいます。今、具体的にどんなテーマでやるかということを検討させてもらっているところですし、また皆さんのところに違った分野からお声がけがあるかと思いますが、そのときには、ぜひ参加してもらいたいです。

それから、こういったタウンミーティングで何と言うか、距離感もあつたりしますが、いつも長野地区からはいろんなお祭りに呼んでもらっています。そんな機会にもいろいろと、こんなこともあったよ、こんなことどうやということも聞かせてもらえればと思って

いますし、どこかその辺をうろうろ歩いたりするときもありますので、また気軽に声をかけてもらえればと思います。

いずれにしましても、皆さんのご意見をしっかり聞いて、それを市政に反映をさせていくことについて生涯変えるつもりはないので、引き続き皆様方からご意見、ご要望をいただければと思います。